



# 幼稚園だより

令和4年度  
5月号

令和4年4月28日  
文京区立湯島幼稚園  
園長 前田 宏子

## しなやかな心

園庭のけやきの新緑もきれいになりました。その下で遊ぶ子どもたちに気持ち良い木陰を作ってくれています。先日は5歳児ゆり組が東大への遠足に行きました。プロナチュリストの佐々木洋先生をお迎えして、三四郎池の周りの自然物についてさまざまなことを教えていただきました。少し暑い日でしたが、青空の中散歩することができました。幼稚園の青い空にはこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。

今年も進級してすぐ、ゆり組の子どもたちは年少もも組の身支度の手伝いを行いました。朝からやる気いっばいに登園してくるゆり組の子どもたちでした。もも組の子どもたちに丁寧に接しながら、身支度を終わらせると遊び出しも手伝います。「何して遊ぶ？」と声をかけて一緒に遊具を使って遊んでいきます。「粘土だあ、懐かしいなあ」と言ったり、園カバンを開くことが難しいもも組の子どもの手を添えて手伝ったりしていました。ゆり組にとって自分の成長を感じられる時間になりました。“もも組の時はこんなに小さかったんだ”と思い返し、今の自分は“できるようになったことがたくさんある”と感じていたと思います。人との関わりの中で自分の成長を感じることができます。自分一人を見ているだけだと分からないことも、様々な人やものとの関わりの中で自分を振り返ることができます。

人と関わる中では嬉しく感じることもあれば、悲しい思いを経験することもあります。さまざまな経験をする中で感じた思いをそばで共感する人がいることはとても大切なことです。「嬉しいことは二倍になり、悲しいことは半分になる」と言われますが、まさにその通りだと思います。周りで共感してくれる人がいると感じた子どもは経験を積み重ねていくことでつらいことがあっても乗り越える力もついてきます。うまくいかないことがあっても、ぽきんと折れてしまうことはなく、しなやかな力でまた元の場所に戻ってくることができます。幼稚園の生活の中でたくさんの人と関わりをもち、たくさんのおもいを感じてほしいと思います。幼稚園での生活の中ではそばに寄り添う担任の存在があります。時には優しく、時には厳しく接しながら、共に生活を進めていく中で一人一人の思いに共感していきたいと思います。ご家庭では保護者の方がそばにいて思いを共感していくことでしょう。

5月には久しぶりの親子遠足も予定をしております。大人も子どもも一緒に楽しめる機会になることでしょう。まだまだ、感染症対策は必要な時期ではありますが、できることを探して活動を進めてまいります。



ゆり組が作ったこいのぼり。  
気持ちよさそうに泳いでいます

お知らせ  
佐々木洋先生が 5月1日19:30  
「ダーウィンが来た」に出演されます。  
ぜひ、ご覧ください！